



京葉線にたたかう拠点!

京葉支部堂々と結成

一月七日、動労千葉の十二番目の支部「京葉支部」が誕生した。運転職場と営業職場が一体となり、創られた動労千葉初の地域支部だ。この間、JR当局や鉄道労連は「京葉線はモデル線区、動労千葉や国労は排除する」と公言してきた。この攻撃を打ち破り、堂々と闘う拠点を打ち立てたのだ。京葉支部は、結成大会で強制配転者の原職奪還と

鉄道労連解体を柱に、東中野事故を教訓に合理化と労務支配のモデル「京葉線」の攻撃にたいし、動労千葉のモデルになっていくことを決意して闘いに突入した。われわれは、この一九八九年冒頭の快挙に心より敬意を表し、八九年を勝利の年とするべくストライキも辞さず闘い抜こう!

結成大会は、十五時より、山田準備委員の「記念すべき大会としましょう」という力強い開会宣言で始まり、大会議長に外山氏を選出、「本日、京葉支部が結成大会が開かれるということは重要な確認点があると考え、ひとつは基地のありか

たを変えていく運輸区の見られるところ、京葉線はモデル地区である」という攻撃、また東鉄という攻撃のなかで京葉支部が結成されるといふことは動労千葉の組織拡大のチャンスである。東中野の事故を見



JR当局・鉄道労連の動労千葉排除攻撃を打ち破り、結成された京葉支部! 鉄道労連「組合員」1名も加入し、深見支部長のもと動労千葉初の地域支部がスタートした。



ても明らか通り東鉄労にいたら殺されるといふことがハッキリし

選出山さそれた二二役

- 支部執行委員長 深見四郎 (京葉運輸区)
- 支部執行副委員長 伊藤詔一 (京葉運輸区)
- 支部書記長 山田 護 (南船橋駅)

1月14日 団結旗開きを集ろう!
13時より～ 千葉県労働者福祉センター

続いて、深見結成準備委員長の挨拶を受けた後、本部より中野委員長の一きよう念願の京葉支部が結成されまして、深見準備委員長をはじめみなさんの決断に心から敬意を表します。」とのあいさつ。また、津田沼支部を代表して荏司さん、木更津支部を代表して齋藤支部長、本部営業協議会の佐藤議長、争議団を代表して綾部氏がそれぞれ、京葉支部の結成を讃えるあいさつを行いました。

JRの最先端攻撃と真正面から対決する!

議事に入り、山田準備委員のほうから、結成に至る経過及び方針の提起を受けた。山田委員は、「われわれの京葉支

を行っている。

「われわれの京葉支



一昨年の国鉄分割・民営化という事で私達は多くの血を流し、くやし涙も流した。この中でやられたことについて私達は取り返していくんだ。これから解雇者や清算事業団とともに闘いに決起していきます。昨年、私達は、京葉線という合理化が進んでいる所で、

小さな支部でもまたたかいはより大きく! 深見結成準備委員長 名、営業協議

会が九名、合計十六名という小さな支部ですけれども、闘いはより大きくしていきたい。